



追悼展
『坂上直哉の足跡をたどる』

追悼展『坂上直哉の足跡をたどる』

坂上直哉氏の主な活動は、建築や都市空間に於けるアートワークでした。そのため、これまで各地の作品を一堂に会して目にする機会がありませんでした。そこでこの度、氏の作品とその制作姿勢を、春と秋の2回に分けてご紹介したいと追悼展を企画いたしました。

坂上氏は若き頃、妙心寺天球院(京都)の金碧障壁画「朝顔図」の奥に深い光を見出した後、近代の素材・ステンレスを駆使した光の探究を続けました。春の追悼展Part1では、氏がどのように人とステンレスのインターフェイスを考え、ステンレスの光を引き出し、表現してきたかを展示いたします。秋のPart2では、氏が生涯大切にしてきた、多くの人々との関わりの中から生まれる「場のアート」について、陶板、ガラス、木、漆喰などの作品も併せてご紹介する予定であります。

2度にわたる追悼展をご高覧いただき、坂上直哉氏の残した足跡をご一緒にたどっていただければ幸甚に存じます。

2023年2月吉日

「坂上直哉の足跡をたどる」会



坂上直哉
Sakagami Naoya

1947年東京生まれ。東京藝術大学美術学部絵画科油画卒業後、1972年「ステンレスで絵を描きたい」と日新製鋼の門をたたく。2012年まで日新製鋼嘱託として表現と技術の共同開発に携わる。1984年より「アートワーク空」主宰、アーティストとして設計と建築空間におけるワークを開始。1995年「アートアソシエイツ八咫」を設立し、3人のメンバーで、外部とのネットワークによる恒久設置のアートワーク、展覧会企画・運営などを行なってきた。2022年4月永眠。

(一社)日本建築美術工芸協会理事 著書『翼竜のたまご』(日経BP社)

〈Part 1〉

坂上直哉の足跡をたどる

『～ステンレスで絵を描きたい～』

2023年 4月23日(日)～4月28日(金)

〈Part 2〉

坂上直哉の足跡をたどる

『～紋なす場のアート～』

2023年 9月18日(月・祝)～9月23日(土・祝)

場所：建築会館1階ギャラリー

〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20

時間：11:00～19:00 (最終日は16:00まで)

入場：無料

主催：「坂上直哉の足跡をたどる」会

後援：学校法人 玉川学園
玉川大学・玉川学園学友会
(一社)日本建築美術工芸協会
日鉄ステンレス株式会社

お問合せ：「坂上直哉の足跡をたどる」会事務局

露口 090-8117-7502

倉本 090-8117-5572

